

令和 6 年度 第 3 回松江市立法吉小学校学校運営協議会会議録

1 日 時

令和 7 年 2 月 1 8 日（火） 1 3 : 4 0 ~ 1 5 : 4 0

2 場 所

法吉小学校 会議室

3 出席者

- (1) 委 員 若林三成会長、木次三八郎委員、安達卓生委員、松浦ぎん子委員、
- (2) 事務局 糸賀校長、三浦教頭、野津主幹教諭、土肥地域学校協働活動推進員

4 議 題

- (1) 会長あいさつ
- (2) 学校評価の結果について
- (3) その他
- (4) 校長あいさつ

5 議事の要旨

- (1) 会長あいさつ
- (2) 学校評価結果報告
- (3) その他
 - 地域ボランティアの活動紹介
 - tetoru、留守番電話設置について
- (4) 校長あいさつ

6 会議経過

- (2) 委員より意見・質問等

○メディアに関して

- ・児童のスマホ所持率や SNS によるトラブルの状況、メディア機器が手放せない児童はどの程度いるか。
→スマホ所持の調査は行っていないため不明。しかしかなりの子が持っていると思われる。SNS によるトラブルの報告はない。
- ・とても便利なものだが、途中の過程を飛ばして結論が出てしまう。生活そのものがつまらなくなる。適切な使い方で活用できるとよい。
- ・手っ取り早く調べられる道具ではあるが、1 つの結果で結論付けるのではなく、複数調べたことをもとに結論付けることが大事。そう言った指導をしてほしい。
- ・メディアコントロールウィークの期間だけでも、メディアを制限し、良い取組である。

○図書館活用、読書活動について

- ・学校評価項目の文言に「図書館で好きな本を探して読書したり調べたり」とあるが、調べる際に使う道具が変わってきている。知りたいことを求める場が「図書館」だけではなくなくなっていることから、この評価が低いと考えられる。
- ・肯定的評価 70%は十分だと思う。

○その他

- ・大人でもあるものでぱっと作ったり完結したりし、自分でつくり出すということをしなくなっている。そのような時代に、学校がじっくり考え丁寧に学ぶという指導をしてい

くことは大変だと思う。

- 困っているときに解決する方法を身に付けてほしい。
- 教科書のデジタル化が進んでいるが、使いこなせる子ならいいが、一部部分しか見ない子にとっては、情報量が少ないと感じる。実際の体験や経験を通して、成功や失敗することで成長できるのではないか。経験が大事だと思う。
- タブレットドリルは、回答するとすぐ答えが出てくる。回答までのプロセスを四苦八苦しながら考えることが少なくなり、危惧感をもっている。
- 玄関前の掲示板に阪神淡路大震災時につくられた歌詞が掲示されていた。今もその時の気持ちを大切にしてもらえていると感じうれしく思った。
- 学校が担う役割は「学習や学びを進めること」「集団や友達と協力して何かを成し遂げること」だと思う。その面からこの学校評価結果を見ると、肯定的評価が高く、学校の果たす役割はできている。このことを学校だよりにしっかり載せてアピールするとよい。「うちの学校はいいところだ」と感じられることが、児童にとっても保護者にとっても幸せなことで、好循環を生むことにもつながる。

7 事務局より

- コミュニティースクール制度化 20 周年記念フォーラムのお知らせ
- アンケート協力の依頼
- tetoru 登録の依頼